

## 不登校多様な学びネットワーク交流会

今回、この交流会に参加させていただいて、自分の見識をさらに広げることができました。保護者や子ども、また周囲の人々等、様々な立場があること、それによって居場所を作る、人とのかかわり方を教える等、目的や手法も変わることを改めて認識できました。

居場所を作ることについても、公的な場所を頼らずとも、人との関係を築けていけば良いのではないかと思えました。また、身近な人を大切にすることでも、誰かの居場所になれることにつながると感じました。まずは身の回りのことから、手の届く範囲で取り組みたいです。



## オンラインゲーム交流会



私は、オンラインゲーム交流会に参加して、最初はどんな子が来るのだろうと、少し緊張しました。しかし、いざ始めるとたくさん積極的に話をしてくれて、楽しく交流できました。また、数回参加していくうちに、接し方などを知ることができました。

大学受験があるためこれから参加する回数が減りますが、受験が終わり次第、また参加していきたいなと思っています。

### スタッフ活動の感想：須戸さん

主にオンラインゲーム交流会に参加しています。

「年齢の近い学生だからこそ、不登校の子たちに寄り添えることがある」と信じて学生の頃にボランティア活動を始め、現在は社会人として働く傍らスタッフのサポートを中心にFESで活動しています。

FESでの子どもたちのことを真剣に考える人たちの姿は、私の方が勇気をもらっています。活動を通じての子どもたちの笑顔はもちろん、そこに携わるスタッフの笑顔が、私は大好きです。

### 保護者向けアンケート結果

お世話になっております。アンケートのご協力ありがとうございました。今月からまた回答結果のほうを、FESだよりにて共有させていただきたく思います。

今回は、「育児に関して知って役に立ったこと」への回答結果から、共有させていただきたいと思います。

- ・子どもと向き合うとき「母親だから」と思うと、「こうあらねば」と自分にプレッシャーになるので、「この子は生まれてから数年しか経ってなくて、自分は確実に子どもより多く生きてるんだからな」と切り替えると少し余裕ができるようになりました。

- ・過干渉を抑える/人と関わるときの視点、観察力

役に立ったと思う情報の他、役に立ったと感じたときの感想や得られたものも回答結果からみられました。次号も回答結果を掲載させていただきます。

